

第96回 東葛しぜん観察会

自然探検ラリー

高森 咲愛（松戸市）

日 時：2024年7月27日（土）13時～16時

場 所：21世紀の森と広場 みどりの里（松戸市）

参加者：38名（大人17名、子ども21名）、

担当指導員：草野・櫛田・高森、参加指導員：12名

前日までの天気予報では曇りとなっていましたが 当日になると天気は晴れ。最高気温37℃～38℃を越える酷暑。熱中症警戒アラート直前数値の中での実施となりましたが、なるべく直射日光を避け、指導員・参加者共に熱中症や体調不良等もなく楽しい観察会となりました。気温が高かったためか来園者数が少なく園内は少し寂しかったですが、38名の方が参加してくださいました。

主な実施ポイントは ①虫のきもち、②オオバコのスジ出し競争、③匂いたんけん、
④クイズ、⑤ハスたんけん、⑥虫をさがそう

①虫のきもちでは、花壇に来る虫やブルーサルビアの花をルーペで観察し、どのように花粉を運んでもらうかを説明。

②オオバコのスジ出し競争では、オオバコの葉をちぎり、筋の強さを観察。足元のオオバコを夢中で探す子どもたちの姿が目立ち、盛り上がりました。

③匂いたんけんでは、「クサギ」「ドクダミ」「ヨモギ」の匂いを嗅いでもらいました。
「いい匂い」や「臭い」や「美味しそうな匂い」等色々な表現が飛び交いました。

④クイズでは、お米についての紙芝居を読み、普段食べているお米がどうやってできるのかを説明。稻の花も咲いており、見ることができました。

⑤ハスたんけんでは、ハスの葉に水をかけ、水の玉が転がる様子を観察。

⑥虫をさがそうでは、子どもたちが虫網を持ち 駆け回り、捕まえた様々な虫を見せてくれました。虫が苦手な子も一生懸命に蝶を追いかけて嬉しそうにしていたのが印象的でした。

○おまけのポイントでは、秋の七草でオミナエシの綺麗な黄色の花が咲き、紫青のキキョウも観られ、フジバカマの花期はこれからで、ススキ・クズも紹介しました。クヌギの枝先には小さな赤ちゃんドングリを見つけたり、沢山の発見がありました。

○最後に、たんけんラリーを終えて受付に戻ってきた参加者にササ舟づくりを体験してもらいました。ササ舟をつくるのは初めてとの子どもが多く、水に浮かべて遊び 終了としました。



ブルーサルビアにハナバチが蜜を吸いに 綺麗なハスの花 葉っぱに水をかける ササ舟づくりもたのしいですね